『輝け雪』のまち　ぬまた町

みんなの議会

2019年11月
第79号

私たちの声を!!

第3回定例会 …… 2-3

- 一般会計補正予算
  住んで快適住まいる応援奨励金の増額など
- 第6回臨時会
  非常用発電設備・トイレトレーラー契約

町長に問う …… 4

上野議員が高穂スキー場の利用増に向けて質問したほか、6名の議員が質問を行いました。

防災特集 …… 9

昭和63年の北空知大水害から学び、警戒レベル5段階、避難所と発電機設置状況等、災害への備えについての内容を紹介します。

決算特別委員会 …… 10-11

- 一般会計　歳出決算49億円など
- 総括質問　町民の満足度は？など
- 一般会計・水道事業会計意見

令和元年 第3回 定例会

9月18日

令和元年第3回定例会が開かれ、町長の一般行政報告および教育長の教育行政報告の後、7名の議員が一般質問を行いました。

平成30年度一般会計と、水道事業会計の決算審査については、決算特別委員会を設置し集中審査をすることとしました。

上程された主な議案

◎令和元年度一般会計補正予算

〈主な内容〉

振興事務費

・炭鉄港推進協議会負担金
10万円

炭鉄港が日本遺産に認定されたことにより、その構成要素であるクラウス15号を所有する沼田町も協議会に加入しました。

認定を記念する懸垂幕

移住定住応援費

・住んで快適住まいる応援奨励金増　1194万円

住宅を新築したり、持ち家をリフォームする際に使える補助金が増額されました。

・民間賃貸住宅建設促進事業補助金　880万円

光ファイバー管理費

・五ヶ山橋光ケーブル支障移設工事費増
465万円

沼田厚生クリニック運営費

・町立沼田厚生クリニック損失助成金
6142万円

道営施設等整備費

・農業用ため池ハザードマップ作成委託料
600万円

林業振興費

・沼田町有害鳥獣対策委員会交付金　104万円

防災対策費

・消耗品費増（毛布・エアマット・パーティション等）　130万円

化石体験館費

・外壁改修工事
209万円

化石レプリカ工房費

・ヌマタネズミイルカ骨格標本製作委託料
15万円

北海道天然記念物となったヌマタネズミイルカのレプリカを追加で製作するものです。

体育施設管理費

・修繕料増（屋根の補修）
27万円
・備品購入費（バレーボール支柱等）
99万円

みどりの景観等保全基金費

・みどりの景観等保全基金積立金
160万円

◎条例・規約の一部改正

・沼田町みどりの景観等保全基金条例

新たな法律公布に伴い、新たな基金条例の設置ではなく、目的の類似する既存の条例を改正するもの。

・北空知衛生センター組合規約

・深川地区消防組合規約

それぞれの組合から幌加内町が脱退することに伴うもの。また、消防組合からの幌加内町脱退に伴う財産処分について定めました。

◎教育長の任命について

吉田憲司氏の再任について同意しました。

◎教育委員の任命について

松尾敦史氏の再任について同意しました。

◎公平委員の任命について

須網一弘氏の再任について同意しました。

レプリカ作製作業

表紙の写真

10月15日、長生クラブとの懇話会でのひとコマ。除雪、農産加工品や議会に対して貴重な意見交換ができました。

第3回 定例会で議決された意見書

林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める

既存の制度や森林環境譲与税を活用した地域の特性に応じた森林整備の推進や、森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業化の実現に向けて、施策の充実・強化を図ることを求めました。

1．森林整備事業及び治山事業の財源を十分かつ安定的に確保すること。
2．地方債の特例措置を継続すること。
3．林業事業体や人材の育成に必要な支援措置を充実・強化すること。

今回の定例議会の傍聴者は、10名でした。
みなさまの傍聴をお待ちしています。

町議会のホームページをご利用ください

沼田町役場ホームページの「部署一覧」の中に町議会のコーナーがあります。過去の議会広報誌や、平成23年以降の議会定例会と臨時会の議事録を見ることもできます。現在の議会構成のコーナーには各議員のプロフィールも掲載されています。パソコンだけでなくスマートフォンからも見ることができますので、ぜひ一度ご利用ください。そして、皆様からの感想、ご意見をお待ちしています。

「沼田町議会」で検索！

スマートフォンはこちらから→

第6回 臨時会 7月24日

◎契約関係
- 和風園非常用発電設備整備工事　7348万円
- 旭寿園非常用発電設備整備工事　5643万円
- トイレトレーラー購入　1645万円

皆さんからお寄せいただいた募金も活用します。

沼田町で導入予定のトイレトレーラーと同じ型のもの

町長への一般質問

問 高齢者ドライバーのサポートが必要
答 体験試乗などで今後の対策を検討したい

鵜野　範之 議員

問　最近高齢者ドライバーによるアクセルとブレーキの踏み間違い事故が増えています。その背景には65歳以上の高齢者ドライバーがこの10年でほぼ倍増していることが挙げられ、今後も踏み間違い事故は増加すると考えられます。

　その対策として、政府やいくつかの自治体では免許の自主返納や、事故を回避するための装置の設置などが進められているようです。事故の増加により、運転手自身も運転を控えるようになってきているとは思いますが、沼田町では車がないとなかなか生活ができませんん。そこで、沼田町でも町民の安心安全のためにこういった事業に取り組む考えはないのか聞きたい。

答　全国各地で起きている高齢者の事故は、我が町でも他人事ではないというふうに思っています。沼田町の75歳以上のドライバーは平成29年末で281名います。そのような状況の中で、我が町としては交通安全協会で、安全運転支援装置付き自動車の体験試乗会を計画していくところです。その結果を踏まえて体験試乗された方の率直な意見も聞かせていただき、今後の対応策を検討していきたいと考えています。免許の返納については本人やご家族の意見を伺い慎重に進めなければなりません。我が町には乗り合いタクシーもありますので、ある程度の制約はありますが車がなくても生活できる環境に近いということを報告させていただきます。

サポートカー体験試乗会

問 高穂スキー場の利用に向けて
答 公共施設等管理計画の中で検討していきたい

上野　敏夫 議員

問　高穂スキー場は親子で親しめる良い施設で、観光資源と考え、スノーモービル、圧雪車などの乗車体験もできるようにし、北空知広域圏の中で高穂スキー場を考えてみてはどうか。豪雪地帯の沼田で育った子どもが、外で雪に親しみ、体験ができる施設だと思うので、リフトの新築構想があるのか聞きたい。

　一時的にでもプレハブでロッジのスペース拡張とスキー板などの保管場所の設置、大切なスキー学校への支援、親の負担となる送迎に乗り合いタクシーが利用できる環境を整えてはどうか。

　教育上重要な施設なので、リフトの無料化により教育熱心な町のイメージアップと、スキー場の利用増につなげてはどうか。

答　観光資源であるので、スキー学校と併せて人を呼び込むためのキャッチフレーズとして使うべきと思っています。雪だるま、雪上体験については小さなものは可能かもしれませんが、常時管理するのは今の体制では厳しいです。現在公共施設の管理計画をとりまとめて検討しているところです。今後管内の教育関係者に、スキー場の利用促進に向けた説明をし、施設のあり方についてはプロジェクトの中で考えていきます。

沼田スキー学校の授業

教育長　昨年リフト代を見直し、中学生は大人の半額にしました。スキー場の送迎対策については、送迎をしてほしいという話はこちらに来ていませんが、学校を通じて確認し、検討します。スポーツは人生の中で非常に有意義なのは確かなので、スキー学校への支援については町長と相談しながら考えていきます。

問 JR留萌本線存続の取り組みを問う
答 利用促進対策を実施していく

篠原　暁
議員

問 昨年5月に沿線4自治体の首長による「JR留萌本線沿線自治体会議」が結成された後、どのような話し合いが行われたのか。

道議会において、国や自治体の支援を前提としてJRが存続を目指す8区間の利用促進費が補正計上されたが、留萌線を含む5路線に関わる負担はいくらになるのか。

沼田町はこれまでも独自に留萌線利用促進策に取り組んできたと思います。イベントなどの取り組みだけではなく日常的にどのような方策をとっていくのか聞きたい。

次回協議会の中で議論させてもらうが、5路線についての負担が発生するということについては想定していません。

利用促進については、乗ったことのない人に沼田町の良さについて知っていただき、連続テレビ小説又は鉄道ファンを巻き込むことも視野に入れ、クラウス15号関連シンポジウムを開催することにより、来訪者を増やすことができればと思っています。

明日萌駅

篠原議員のそのほかの質問

問 日米貿易交渉から沼田の農業を守るには

答 生産減少想定額に対し、持続可能な農業を検討していく

問 国の幼児教育無償化よる財源を子育て支援に

答 国よりも先行して取り組んでいる

問 防災対策には「知恵の備蓄」が必要
答 自主防災組織設置に向けて取り組む

長野　時敏
議員

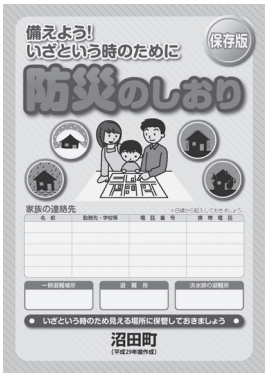
問 沼田町の防災計画においては、生活再建の具体的道標を示すべきで、防災計画や防災のしおりに罹災証明書などの証明書の取得や、支払いの減免などの実際に起こりうる問題について分かりやすく伝える必要があります。より使いやすい防災計画や防災のしおりにすべきで、高齢者や外国人も見やすく配慮されたものになるよう工夫改善が必要と考えます。

そして、町内会と連携した防災訓練の実施が必要であり、町民参加による防災の方法、防災によるコミュニティの強化が期待できると考えています。平常時から町民にスムーズに説明し安全安心につなげられる知恵の備蓄こそ、最大の予防ではないか。

罹災証明書については各種支援制度を受けるために必要なものということで、全ての手続きについて網羅した対応を全町民に周知するというのは難しいと思いますが、内容については検討をして適宜周知することとして対応するとともに、被害の発生時にも町民に対して周知をしなければいけないと思っています。

平成30年度に改正をしていますが、改めて検討していきますし、防災のしおりについては、来年度に改正を予定しています。

町内会との研修会の実施に向けた対応については、現在検討中であり、自主防災組織設置に向け、自助・公助・共助の精神を広めていただきたい。



家庭に配布されたしおり

長野議員のそのほかの質問

問 出生率公表と北空知出生率向上委員会(仮称)設置を

答 数字の前に対策を講じていきたい

※出生率とは、1人の女性が出産可能とされる15歳から49歳までに産む子供の数の平均を示す。

問 今、支援すべき業種はどこか
答 商店街の持続活性化を支援

久保 元宏 議員

問 沼田町では、飲食店が激しい勢いで閉店し、商店街の活気が失われつつあります。

一方、秩父別町では子ども向け遊具施設の効果により、食堂を開業し、地元農産物を利用したグルメ戦略で元気な情報発信をしています。

店舗の環境整備や入客を促す事業、企業や新規事業者等のサポートは万全であるか、商店街がこれ以上疲弊する前に、大胆な政策が求められるが、町長の考えを聞きたい。

答 看板や店舗の改装等については「商工業活性化サポート事業」を活用していただきたい。

観光客や交流人口の拡大に向け、ご当地グルメなる農産品に関連する商品の開発提供に繋げ、町内循環を高めていきたいという考えで「魅力アップ沼田活性化支援事業」も利用していただきたい。

事業継承、親子、第3者も含めて店舗の改修費用の支援制度も開始しております。

起業に関する新規創業につきましては、空き店舗等を活用した新たな商業活動の誘発に向けて、今後の対策として検討していきたいと思います。商業施設整備から、今後は各商店への波及、連携を緊急的に考え、商店街が持続活性化していく対策を商工会と共に考えていきたい。

商店街の駅前通り

そのためにもプロジェクトを設置していただき、具体的な支援策をバックアップしていきたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。

問 「2025年問題」を問う
答 いつまでも暮らせる環境を作りたい

高田 勲 議員

問 「2025年問題」が提起されていますが「コンパクトエコタウン構想」で進めてきた各施設を中心に、どう克服していくのか「第6次沼田町総合計画」を手掛けている今、議論する時期に来ています。

今後の人口推計から要支援・要介護の対象人口の見通しや施設や通所、在宅などの介護を受ける形態、また、それを支える介護施設や職員の充足度は十分なのか聞きたい。

また、ご高齢のご夫婦や単身の方に「最後まで沼田町で暮らしたい」と言ってもらえる町を目指していただきたいが、町長の考えを聞きたい。

答 2025年の要支援要介護の対象人口の変化につきましては、現在と比べ、75歳以上の人口が微増する事から若干の増加であろうと推計しています。

介護形態については、高齢者を対象としたニーズ調査から、大きく変化はないと思われます。

「旭寿園」や「なごみ」においては老朽化から改修が必要となる見込みです。

また、介護職員については人材が不足することも懸念されますが「介護人材バンク事業」を推進し、人材確保に努力していきたい。

一方で「高齢者スマイルプロジェクト」の中で高齢者福祉施設の今後について総合的に検討したうえで方針を提示していきたい。

生涯沼田町に住み続けて頂けるような環境づくりや子ども達にも思いを伝えられる町づくりを目指していきます。

介護の現場

問 公共施設の計画とまちづくりについて
答 年度内に検討内容をまとめたい

伊藤　淳
議員

問　前回定例会において公共施設については「施設のあり方検討プロジェクトチーム」で今後検討するとのことでした。

町民体育館や化石のレプリカ工房、ふるさと資料館など、老朽化が目立つ施設が多い中、改修や統合、廃止も含め、今ある施設を有効に活用し、財政と絡めながら新規施設にも着手していただきたい。

計画の中では優先順位を示し、早い時期に町民に周知する事が必要だと考えます。

町民が将来の街並みを想像でき、町政懇談会などで、広く意見を募ることが重要と考えますが、町長の考えを聞きたい。

関係する職員で検討はすでに始めていますが、施設管理カルテなどを更新した上で、現状を確認、精査し年度内に活用方法、優先順位を取りまとめたい。

また、その結果については将来に負担を残すことが無いよう、先の見える町の姿を行政だけでなく町民と共有していきたい。

検討事項については、最終決定ではなく様々な議論をして町民に提示をしていきたい。

建設後48年が経過した町民体育館

令和元年度

北空知議会議長連絡協議会 中央要望実行行動報告

8月7日～9日

総勢12名の中央要望行動団

例年行われている北空知の議員による中央要望行動が行われ、北空知から10名の議員（沼田町からは、久保議員、長野議員の２名）と事務局２名で要望してきました。

農水省との意見交換

【要望内容】

1　農業の振興及び農業農村の整備について（農林水産省）
2　自由貿易協定等の対応について（農林水産省）
3　地域医療体制の充実確保について（厚生労働省・総務省）
4　ＪＲ北海道の安定的な経営に向けた支援について（国土交通省）

【研修内容】

１日目　横浜市議会で、スマホアプリを使った「よこはまウォーキング事業」についての研修。
２日目　午前、北海道選出議員に要望書を提出。午後、農林水産省の職員と鳥獣被害対策・中山間地域等直接支払い交付金についての意見交換。
３日目　東京都台東区議会で、各地方都市の特産品販売「ふるさと交流ショップ台東」についての研修。

◀よこはま
ウォーキング事業

ふるさと交流
ショップ台東▶

産業福祉常任委員会視察報告

7月26日～27日

テーマ「観光による交流人口の創出」

様々な観光資源を結び付け、有効的に活用し、交流人口を拡大することを目的に調査

挨拶する上野委員長

真狩村　地元食材を利用したレストラン設立の経緯

食材供給型農業からの脱却と農産物の付加価値、ブランド力の向上を目指し、地元農産物を中心としたレストランを行政として「マッカリーナ」と称し、開業。

周辺地域との広域連携や食育活動など地域との関わりにも重要な施設となっていました。また、地域産業を担う育成の場として、村立高校の存続にも強い意志を感じました。

木村経済建設常任委員長と説明員の皆様

倶知安町　交流人口と観光開発について

ニセコリゾートとして外国人を中心に人口が増え、地価も上昇しています。

ラフティングやパウダースノーが人気となり、アウトドアに精通した外国人ＣＥＯによるマネージメントや情報発信により、国内外からの観光客や移住者が後を絶たない状況です。現在はアジア系の投資が活発であり、商業施設や住居などの建設が盛んでした。

総務民教建設常任委員会視察報告

10月7日～8日

テーマ「児童生徒の通学路における安全確保」

全国的に通学路における交通事故・事件が絶えないため当町における対策を調査

北海道教育庁生徒指導学校安全課

児童生徒の通学路安全確保に関する情報収集

挨拶する大沼委員長

- スクールゾーンの設定の推進の他、未就学児施設周辺に、新たにキッズゾーンを設置する検討を進めています。
- 川崎市の殺傷事件を受けて、各教育委員会にスクールバス乗り場や乗車しての点検、警備・見守り強化のためのスクールガードリーダーの増員と活動支援、防犯教室、不審者情報など安全対策の強化等を通知しています。
- 登下校防犯プランを、平成30年に文科省が中心となり取りまとめられ、多様な世代による登下校の児童生徒の見守り体制が重要で安全マップコンクールなども有効です。

岩内町　交通安全プログラムと通学路の安全確保に関する取組

- 車道を隔てる防護柵は６か所で、注意喚起の看板は町内会で付けてくれた所もあります。
- 町内会（99地区）で見守りに協力いただいており、不審者情報などは警察から提供されます。建設業者の社会貢献事業として声掛け運動を実施しています。交通安全協会の婦人交通指導員が学校前の交差点に立っており、商店には、子ども110番のステッカーを貼っていただき、保護者にもお店の場所を知らせています。

防災特集 63水害から学ぶ!!

昭和63年8月 雨竜川

「災害は忘れたころにやってくる」と言われますが、北海道胆振東部地震、本年9月台風15号、10月台風19号等、大型化、頻発化が進んでいます。静岡県伊豆市では一日で517ミリと過去の記録を更新しました。

今回は、観測史上最悪の降雨量を記録した昭和63年北空知水害を紹介します。

8月25日から26日にかけて、留萌地方南部から中空知・北空知地方を中心に、雷を伴って強い雨が降り続いた。

総雨量は石狩沼田425ミリ、多度志365ミリの大雨となった。このため雨竜川は、北竜橋下流の右岸堤防からの溢水や支流の氾濫及び内水氾濫が発生した。氾濫面積は約6500ヘクタール（札幌ドーム約213個分）となった。

○沼田町の主な被害

床上浸水148世帯412名
床下浸水151世帯496名
田 200ヘクタール 畑 80ヘクタール
土地改良区131件
農作物 田770ヘクタール 畑236ヘクタール
その他各施設、河川、道路
損害額 55億8900万円

※参考資料～洪水と治水の歴史（滝川河川事務所）、沼田町百年史より

その後、大規模な治水工事が施され現在に至っています。

しかし、未実施部分も残され万全とは言えず、未だ水害対策の課題は残っています。

いざ、というときは避難です。

警戒レベルとは？

本年3月、内閣府から、新たな大雨警戒レベル（5段階）が発表されました。レベル1、2は気象庁から、3、4、5は市町村から発せられます。緊急時の防災無線放送に耳を傾け、状況に応じた的確な判断と行動で命を守ってください。「メールぬまた」の加入もお願いします。（総務財政課）

大雨警戒レベル		
5	命を守る行動を	災害発生 大雨特別警報/氾濫発生情報
4	全員避難	避難指示(緊急) 避難勧告
3	高齢者など避難	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	避難行動の確認	
1	気象情報に注意	

2018.7.3 沼田町
2019.8.9 沼田町

避難所と発電機

昨年の北海道東部胆振地震による大規模停電ブラックアウトの教訓から、発電機の増設の予算が盛り込まれました。

○避難所と発電機の設置状況 ※参考資料：防災のしおり

避難所は、災害等で住宅に住めなくなったときや、災害の発生が予想されるため町長が避難の勧告・指示をしたときに避難する屋内の施設です。なお、冬期間など「一時避難場所」が使用に適さない状態の時には一時避難所として使用します。

対象地区	施設名	発電機
市内１東、市内１北、市内１南、旭町西、旭町東、高穂１	健康福祉総合センター（ふれあい）	設置中
市内２、市内３、南町、仲町東、沼田１	生涯学習総合センター（ゆめっくる）	未定
市内４、市内５、市内６、市内７、緑ヶ丘	沼田小学校	未定
仲町西、西町、沼田３、沼田４、北竜３	沼田中学校	未定
中央	中央地区コミュニティセンター	○
高穂２	高穂地区コミュニティセンター	○
共成	共成地区コミュニティセンター	○
東予	東予地区コミュニティセンター	○
	共成地区活性化センター（水害時）	○
更新	更新会館	○
北竜１、北竜２	北竜地区活性化センター	○
恵比島、幌比里	恵比島地区活性化センター	○

ご自宅から避難場所までの経路は、住んでいる場所によって異なります。あらかじめ自分たちで安全で最適な経路を確認しておきましょう。

まとめ

自助（自分、家族）、共助（助け合い）、公助（自助、共助支援）の全てが大切です。平時から知識・知恵を備蓄しておきたいものです。

決算特別委員会

平成30年度決算 全会一致で認定される

令和元年10月18日～24日

委員長　鵜野　範之
副委員長　長野　時敏

一般会計

◎歳入決算額
49億8406万円
◎歳出決算額
48億7923万円
◎実質収支額
1億　753万円
◎町債残高
29億6450万円
◎基金残高
32億6102万円

総括質問

1. 町民の満足度

上野議員

町が行うサービスについて、もっと町民に伝わるようにしないと満足度が上がらないのでは。

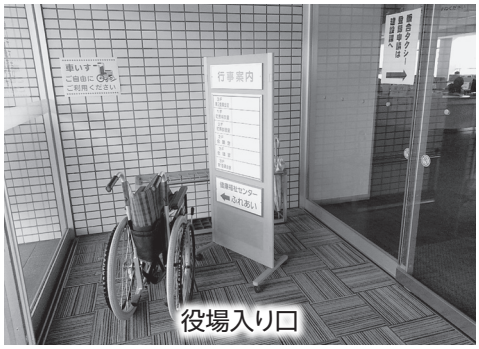
町民の方々へのPRをいかに見てもらえるか、いろいろな周知方法を工夫していく。どういう形が理想か考え、役場に入りやすい、手続きがわかりやすい役場づくりに努めていく。

2. ほたる館の指定管理効果は

久保議員

ほたる館の指定管理1期目の決算効果はどのように現れたのか。なくてはならない財産として、町長の投資への考えは。

なくてはならない財産だと思っている。町民にとって大切な保養施設であり、上川圏からの利用が多くあり稼ぐ力としての意義も大きい。さらに利用拡大するための投資は必要。庁舎内のプロジェクトで検討し、議会や町民の理解を得るようにしていく。


役場入り口

3. 役場の若手職員の育成はどうなっているか

長野議員

上野議員

沼田町の宝である若手職員が早期に退職してしまう状況が見られる。町長として職員の育成をどう考えているか。ストレスチェックの活用や、研修など外部とのコミュニケーションがとれる環境作りはできているか。

大事な人材である若手を育てていくための教育研修はもちろん、理想の上司づくりを兼ね備えた風通しの良い職場づくりに取り組んでいかなければならない。それが住みやすい町づくりにもつながる。

ストレスチェックへの対応は、産業医に相談する場面を作っている。さらに専門性の高い機関による対応も進める。

職員には十分な研修の機会を与えているが、さらに研修を続け、より高度な人材になっていく場を設けていく。

4. 防災訓練の関係機関との連携は

久保議員

平成30年度に行った防災訓練における検証として、関係機関との連携に対する評価と今後の取り組みを聞きたい。

町民を交えての防災訓練

地域住民を巻き込んで実施できたことが良かった。大規模訓練の翌年は研修を行い、その後は最終的には全町規模の訓練を実施する方向で考えている。いろいろな想定をして、各機関といつでも連携できる環境作りに向け、内部で検討を進めていく。

5. 第5次総合計画に取り組んだ結果の検証

鵜野議員

第5次総合計画に取り組む中で、平成30年度は実質公債費比率が0.0という財政状況を達成した。町民満足度の捉え方として、福祉分野などで満足度の数値が低いとすれば、制度として利用されなかったり使いづらいものはなかったのか。

公共施設マネジメントの考え方で、0.0が町民のがまんの結果であれば満足度は上がらないので、夢と希望が持てるような施設計画を示す必要がある。

現在の事業進度がどうなっているのか、事業検証の中で見えるようにする必要があるのではないか。

満足度の数値化は難しい。満足度になるかわからないが、アンケートの結果では沼田に住んで良かったという答えが70％になる。制度を利用しなかった理由や事業評価を基に次の予算を整理していく。

施設マネジメントの試算によると、今後40年間既存の施設を維持管理するのに４００億円が必要。沼田は町民１人あたりの施設の延べ床面積が大きく、新しい施設の建設に当たっては既存施設の廃止などを検討しなければならない。

事業検証は住民から見えるように取り組んでいく。あらゆる財源を活用して、夢と希望が持てるようなプランを計画的に進めていくので、ご支援をお願いしたい。

子どもたちの笑顔が大切

※実質公債費比率は借金返済負担の重さを示し数字が低い方が財政状況が良いとされる（全道５位）。

平成30年度 沼田町一般会計歳入歳出決算認定意見の集約

バランスある先行投資

実質公債費比率が良くなるのは好ましいことですが、ほたる館や子育て交流広場、ＪＲ留萌本線存続対策の効果に不安が残ります。今こそ町民の声を聞く姿勢を持ち、3,000人一人ひとりの夢と希望のニーズを受け止め、満足度を上げる事業の展開を望みます。

子育て交流広場「えがお」

働き方改革の促進

職員の健康維持や業務の効率化、人員増加など、長時間労働の解消を改めて検討すると共に、資質向上や発想の転換による研修機会の拡充、職員の評価制度の工夫を基盤とした職場づくりこそが沼田町の発展に必要です。

平成30年度 沼田町水道事業会計歳入歳出決算認定意見の集約

平成30年度は水道事業の効率を示す有収率が、81.5％となり、10年連続有収率80％以上は評価するところです。今後も効率的な配水管の設備改修に努め、適切な維持管理を望みます。

北海道胆振東部地震では、電気のない中、水道水が供給され、日頃の業務の成果が発揮されたと感じています。一方で今後人口減少などに伴い水道事業にも厳しさが増してくることが予測されます。北空知広域水道企業団より示されている長期財政計画を念頭におき、より一層の健全な事業運営に努めることを望みます。

退任議員との懇親会

10月11日、幌新温泉で現職議員と退任議員の皆さんとの懇親会が開かれました。新人議員はOBから貴重な経験を聞くことができました。併せて開催された退任議員親睦会総会において、川辺敏隆さんが新しい会長に選出されました。

川辺新会長を囲んで

自治振興協議会との懇話会

10月29日、役場会議室において、自治振興協議会と町議会との懇話会を開催しました。活動報告、行政区からの意見要望、JR問題、防災など、活発な意見交換を行うことができました。今後の町づくりに活かします。

有意義な意見交換になりました

みんなの広場

アイデアと経験を活かして

沼田町商工会　青年部部長　菅岡（すがおか）　宣行（のぶゆき）

平成最後の年、新しい年号に変わる記念すべき年に部長という大役を仰せつかりました。沼田町商工会青年部32代部長菅岡宣行と申します。私たち商工会青年部は、この沼田町で商工業を営む45歳までの後継者・経営者、そして青年部の目的及び活動に賛同し積極的に協力する意思を持っている賛助部員からなる団体です。

私たちは、この沼田町で商売を通して地域に生かされている事を実感し未来の沼田町のために今何が出来るのか、青年部という異業種の団体ならではのアイデアや経験を活かし、各イベントで町民の方々や将来を担う地域の子ども達の思い出に残るようなイベントを創り上げたいと思っております。

春の商工会女性部と合同チャリティービールパーティーから始まり、いこいの広場、サマービールパーティー、夜高あんどん、そして冬には農協青年部、役場青女部と合同での輝け雪のまちフェスタ等、全部員が力を合わせて全力で取り組んでいます。

しかし商工会青年部の今一番の問題が部員数の減少です。この活動を続けるためにも青年部活動に興味のある方、正部員、賛助部員どちらでもいいので連絡待っています！

最後になりますが、私自身部長としての自覚を持ち青年部活動を全うし、尽力して参りたいと考えております。今後とも皆様のご協力とご指導よろしくお願いします。

あとがき

来年はいよいよ東京オリンピック開催です。真夏の暑い東京会場で、沼田町の雪で開花を遅らせた桜の花が世界中の人々を驚かせることはできるでしょうか。

さらに、2023年には36年ぶりに夏の高校総体が北海道で開催され、選手・監督などが3万8千人、観客は延べ70万人になるとされています。

競技会場の冷房にはコストがかかります。雪の貯蔵技術を持つ沼田町の雪を会場の冷房に使用して、選手のおもてなしができれば、沼田の雪エネルギー利用技術を全国にPRできる良い機会です。

実現できれば町民が地元に誇りを持つことができ、多くの観光客の来町につながることも期待できるでしょう。

広報特別委員
長野時敏　篠原　暁
上野敏夫　畑地　誉
伊藤　淳

2019年11月21日発行　発行者　沼田町議会　〒078-2202　北海道雨竜郡沼田町　TEL0164-35-2117